

令和6年度「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」結果検証

学校の概要

東中川小	学校	児童数	46
------	----	-----	----

平均値

5年生	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20m シャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール 投げ	体力合計点
男子	15.09	19.09	33.65	37.57	39.65	10.33	154.00	20.83	47.80
大阪市	15.78	19.09	32.72	38.56	45.05	9.52	147.96	20.45	51.13
全国	16.01	19.19	33.79	40.66	46.90	9.50	150.42	20.75	52.53
女子	14.55	17.64	36.59	34.55	39.68	9.67	139.64	4.59	52.36
大阪市	15.64	18.06	37.62	36.76	34.65	9.83	139.56	12.71	52.47
全国	15.77	18.16	38.19	38.70	36.59	9.77	143.13	13.15	53.92

結果の概要

8項目のうち、全国平均を上回ったのは、男子が2項目、女子が2項目であった。男女ともに「ソフトボール」において全国平均を上回った。男女ともに、8項目のうち過半数の項目で全国平均を下回った。体力合計点においては、男女ともに全国平均を下回り、男子においては4ポイント以上下回る結果となった。

- 質問項目「運動やスポーツをすることは好きですか」では、女子においては肯定的な回答の割合が全国平均を約9ポイント下回った。男子においては、全国平均を上回った。
- 1週間の総運動時間が60分未満の児童生徒の割合については、女子は36.3%と高く、全国を大きく上回る結果となった。男子は7.3%で、全国平均を下回る結果であった。

これまでの取組の成果と今後取り組むべき課題

- 各学級にボール、大縄を配布し、休み時間に自由に使えるようにしている。また、竹馬と一輪車を使いややすい場所に設置しているため、使用率が高い。また、運動委員会の児童が遊びや運動、遊具の使い方を紹介する活動を行い、運動の楽しさを広め啓発を行っている。
- 「元気もりもり週間」を設定し、かけ足週間や縄跳び週間を設けている。そのため、休み時間には縄跳びに取り組んでいる児童が多く、学級でのみんな遊びでもおにごっこやりレー、大縄などをしている姿が多くみられる。
- また、ゲストティーチャーの招聘などを通して、運動の楽しさをや友だちと協力したり励ましあつたりすることの大切さを継続して実感させる活動を行っている。
- 「シナブソロジー」を活用し、低・中学年からの計画的な体力向上に努めている。
- 地域の取り組みで、月1度の「遊び場開放」を行っており、体育館、運動場で多くの児童が運動を楽しんでいる。また、一輪車教室などの開催もあり、地域の方々の協力を得て体を動かす機会を作っている。
- 遊びや運動を通じた体力づくり、仲間づくりを継続していく。また、家庭、地域と連携しながら児童の体力づくりについて考え、取り組む必要がある。